



令和8年7月2日
江東区立深川小学校
校長 川辺 章絵
主任養護教諭 細小路麻美

気温が高い日が続いています。こまめに水分をとること、外へ行くときは帽子をかぶることを意識できるこどもたちが増えたように感じます。



6月から水泳指導を行っています。睡眠をしっかりと、朝ごはんをきちんと食べ、耳そうじやつめを切るなどの身支度も含めて体調を万全に整えてきてください。

7月保健目標

なつ けんこう す
夏を健康に過ごそう



「歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の募集について

江東区学校歯科医師会及び東京都学校歯科医師会より募集のお知らせがありました。チャレンジウェンズデーや夏休みの自由課題として取り組んでいただき、奮ってご応募ください。

<応募要項>

内 容	校内での選考はせず、応募いただいた作品は全て区へ提出します。 江東区学校歯科医師会で全作品から選考を行います。 小学校低学年（1～3年生）の部、小学校高学年（4～6年生）の部で選出。 ① 来年度の江東区の歯と口の健康週間行事に使用するポスターを選びます。（入選作品は江東区のホームページで公開されます。） ② 各部門で1作品を東京都学校歯科医師会に応募します。
締切日	9月1日（火） 学校提出
応募にあたって （選考基準・注意事項）	○画用紙の大きさは四ツ切サイズとします。（用紙は学校で用意してあります。必要な場合は養護教諭へお声かけください。） ○作品の裏に「学校名」「学年」「氏名」「ふりがな」を記入します。 ○むし歯の予防を訴えるだけでなく、歯肉の健康、よく噛むことの大切さなど食を通した歯・口の健康づくりや口腔機能の健全な育成、望ましい生活習慣の形成、また、歯・口の外傷予防の大切さを訴える内容も対象とします。 ○作品はいずれも未発表のものとし、他のコンクール等に応募していないこととします。 ○複数の児童による合作は審査対象外となります。 ○表記は「虫歯」「ムシ歯」ではなく、ひらがなで「むし歯」、また「歯磨き」ではなく「歯みがき」とすること。「むし歯」「歯みがき」以外の表記は受賞対象外となります。 ○アニメキャラクターを模倣した作品や特定の歯科用品名・商品名が記載された作品は、著作権等の問題から受賞の対象外となります。

● 定期健康診断の結果をお渡しします ●



6月30日（火）をもちまして、今年度の定期健康診断が終了しました。保護者の皆様には年度初めの保健関係書類の記入に始まり、健診時の持ち物の準備、早期の受診等、さまざまな御協力をいただき、ありがとうございました。

昨日、全児童に定期健康診断の結果を配付いたしました。治療のお知らせをもらって病院で診てもらった後の結果はこちらには反映されていません。学校で受けた健診の結果を一覧でお知らせします。内容を御確認いただき、ご家庭で保管してください。

<結果の見方のポイント>

定期健康診断は身体の異常を早期に発見し、治療等を行うことで、児童の健康を保持増進することを目的としています。結果につきましては下記を参考にご確認いただき、今後のお子様の健康管理にお役立ていただきますようお願いいたします。

計測 (身長・体重)	身体の発育状況を示すものです。各個人の伸び率や肥満度を確認していくことが大切です。学校では低身長症の疑いのある児童の抽出や、原因のはっきりしない体重減少がないかを確認しています。
視力	片目でもB以下（1.0未満）の方へお知らせを配付しています。1.0以上であっても遠視等がある場合もあります。 近年、こどもの視力低下が課題とされています。ご家庭でも電子機器の使用時間や勉強、読書の際の姿勢にお気を付けください。
聴力	1・2・3・5年生が対象です。 4・6年生は保健調査票の「聞こえが悪い」にチェックがあり、検査を希望された児童のみ実施しています。聴力の異常は中耳炎等の疾病が原因のこともあるので、早めに専門医の検査を受け、原因を特定することが大切です。 
内科	聴診による心音・呼吸音異常の有無のほか、栄養状態や皮膚状態、脊柱、四肢の状態等を確認しています。
結核検診	ご記入いただいた問診票を基に、内科検診で確認します。 結核は発病すると、咳・痰・発熱などの風邪に似た症状が起こります。これらの症状が2週間以上続く場合には医療機関の受診をおすすめします。
眼科・耳鼻科	眼疾患や耳鼻咽喉疾患の疑いがあった場合は、プールの入水によって悪化する可能性もあるので、早めの受診をおすすめしています。 
歯科	歯や口腔の健康に関しては、むし歯等の治療を行うだけでなく、学校の健康診断以外にも定期的にチェックを受け、予防を行うことが大切です。
心臓・ 腎臓検診	心臓検診は、1年生全員と転入で1年次未受診のお子様、過去の検査で再検査となっているお子様を対象に行いました。腎臓検診は毎年、全学年実施します。 異常が認められた場合には個別に2次・3次のお知らせやその後の指示をお渡ししています。 ※腎臓検診の判定結果について 令和6年度より、検査機関の判定基準の変更に伴い、 蛋白と潜血の±（プラスマイナス）は陰性判定 となっております。